



# 大 幼



令和6年度  
園長だより No.4  
令和6年7月18日

## プールでの水あそびが気持ちよかったね

今年はプールでの水遊びが充実したように感じました。気温が高い日が続いたことで、水場を求めてジャブジャブと水しぶきを上げていました。

また、園庭では指絵の具を使ってヌルヌルの感触を楽しんだり、水鉄砲で遊ぶうちに遠くに水を飛ばすコツをつかんだり、夏や涼を感じる遊びが展開されていました。

年長さんは、特別支援学校のプールを借りて思い切って顔をつけたり、中には水に浮いて泳いだりする姿もありました。

水に親しんで、水で楽しんだ経験は、今後の水泳への学習につながっていくと考えています。



## 今年のカレーはね

今年も栄養士会の方をお招きして、安全安心なカレーパーティーを実施しました。子どもたちは、附属幼稚園で育てたジャガイモやニンジンサクサク切った後、カレーの栄養についても学びました。

今年は、ジャガイモの収穫量が例年に比べると多く、売り物になるくらい立派なおイモさんがゴロゴロありました。

いよいよ、カレーを食べ始めると、「ちょっと辛いかなあ」と言いながらも、タプタプのカレーが入った大きな鍋が、あっという間にカンカラカンになりました。



## 響け！園長の読み聞かせ



大学生の教育実習の前期課程が修了しました。各自が担当学年での読み聞かせを通しての提案保育でした。読み聞かせの前に絵本に関するペープサート等から子どもの関心を引き付けたり、場面によって声のトーンを変えたりして、工夫した読み聞かせができていました。

今年度は、私も読み聞かせを取り入れた「園長先生のお話」にチャレンジしています。しかし、長年染みついた感覚からか、ついつい子どもたちへのメッセージ的な本を選ぶ傾向にあることが気になっていました。そこで、読み聞かせの甲斐先生にそのことを尋ねてみると、「心を込めて読むことが大切で、読み終えて『あたたかみ』が残るといいですね」と教えていただきました。

また、子どもはその時感じた感動が長く残ることや子どもの感性に大人は負けてしまうことなどを知りました。お話を聞いていくうちに絵本の世界には、人生を肯定的に捉えるといった、ウェルビーイングを実現できる世界観があることにも気づかされました。

今後も機会を見つけては読み聞かせを取り入れ、私の感性で捉えた絵と言葉が子どもたちの感性と共に響き合えるような一冊に出会えると嬉しいなと思っています。